情シス1,000人に聞いた！

IT資産管理ツールのクラウド化実態調査

2025年版

© MOTEX Inc.

本調査について

近年、テレワークやハイブリッドワークの定着を背景に、IT資産管理ツールのクラウド化を検討する組織が増えています。エムオーテックス（MOTEX）でも、オンプレミス型とクラウド型のどちらを選ぶべきかというご相談を多くいただいております。

そこで今回、MOTEXでは、組織の情報システム担当者1,000名を対象に、IT資産管理ツールのクラウド化に関する実態調査を実施しました。PC管理担当者の考えやクラウド化の課題など、クラウド化を検討する上での重要なポイントを知ることができる調査結果となっています。

皆様がより良いセキュリティ体制を構築できるよう、本調査結果がお役に立てば幸いです。

エムオーテックス株式会社

© MOTEX Inc.

1.

2025年 調査結果

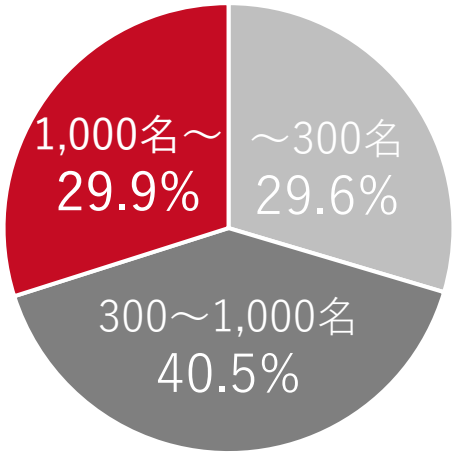
© MOTEX Inc.

本調査について

調査概要　**「IT資産管理（PC管理）ツールのクラウド移行実態」に関する調査**

- 調査期間：2025年1月
- 調査方法：インターネット調査
- 調査人数：1,020名
- 調査対象：企業・組織に所属している 情報システム担当者 、かつPC管理の担当者
- モニター提供元：ゼネラルリサーチ 株式会社

会社規模内訳



© MOTEX Inc.

調査項目について

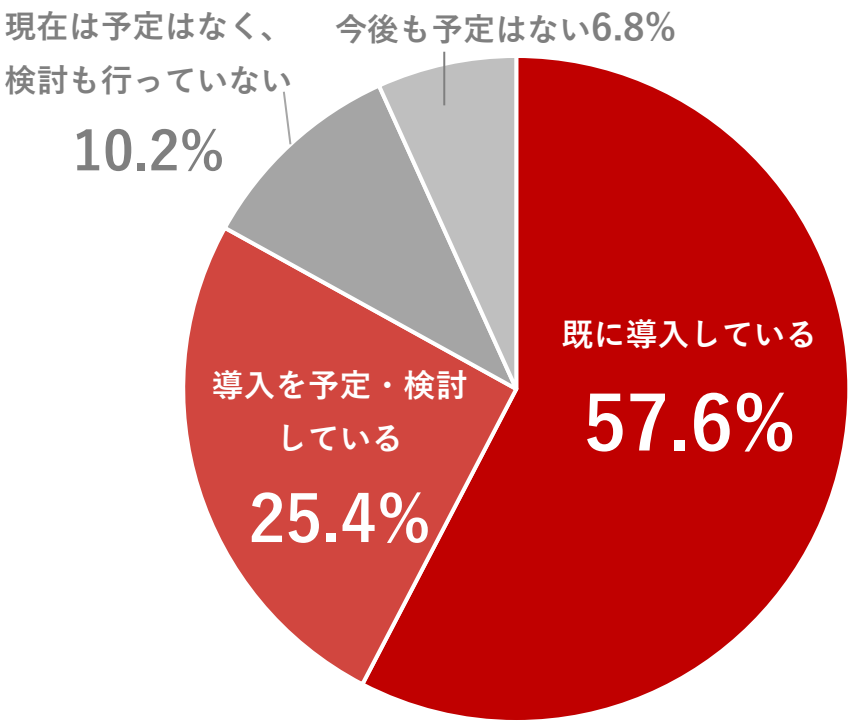
No	アンケート項目
Q.1	社内のPCに関する情報をIT資産管理ツールなどのソフトウェアやクラウドサービスで管理していますか？
Q.2	IT資産管理（PC管理）ツールを導入（予定・検討も含む）した理由として、当てはまることを教えてください（複数回答可）
Q.3	導入（予定・検討も含む）しているのは、どちらの IT資産管理ツールですか？
Q.4	クラウド型のIT資産管理ツールを導入（予定・検討）している理由として、当てはまるものを教えてください（複数回答可）
Q.5	導入（検討も含む）しているクラウド型のIT資産管理ツールはどのような形式ですか？
Q.6	IT資産管理ツールのクラウド化においてどのような点が課題ですか？
Q.7	IT資産管理ツールの選定時に最も必要だと思う要件について教えてください
Q.8	IT資産管理ツールで取得した操作ログの活用方法について教えてください（複数回答可）
Q.9	IT資産管理（PC管理）ツールで取得したPCの操作ログは、どのくらいの保存期間が必要ですか？
Q.10	社内で使用するスマートフォンもあなたの管理対象になっていますか？

© MOTEX Inc.

IT資産管理ツールの導入・検討状況、導入理由

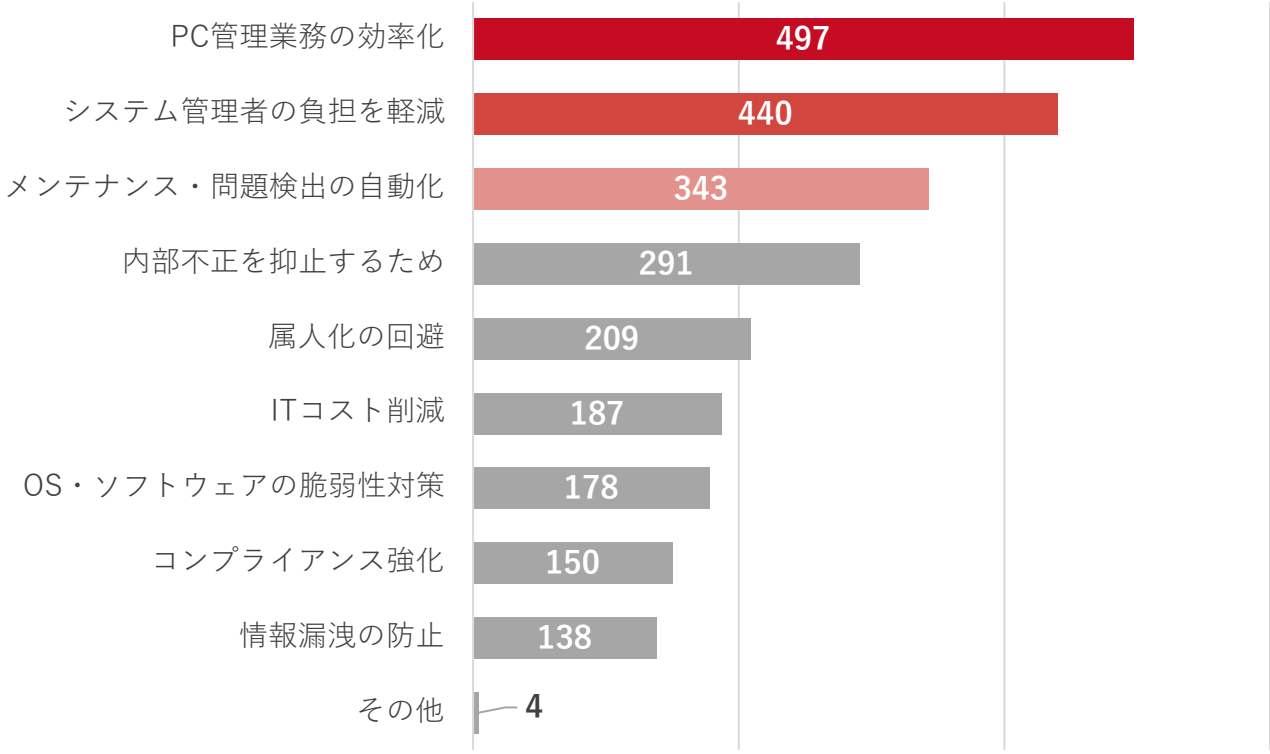
Q.1 社内のPCに関する情報をIT資産管理ツールなどのソフトウェアやクラウドサービスで管理していますか？

（有効回答数：1,020）



Q.2 IT資産管理（PC管理）ツールを導入（予定・検討も含む）した理由として、当てはまることを教えてください

※複数回答可（有効回答数：847）



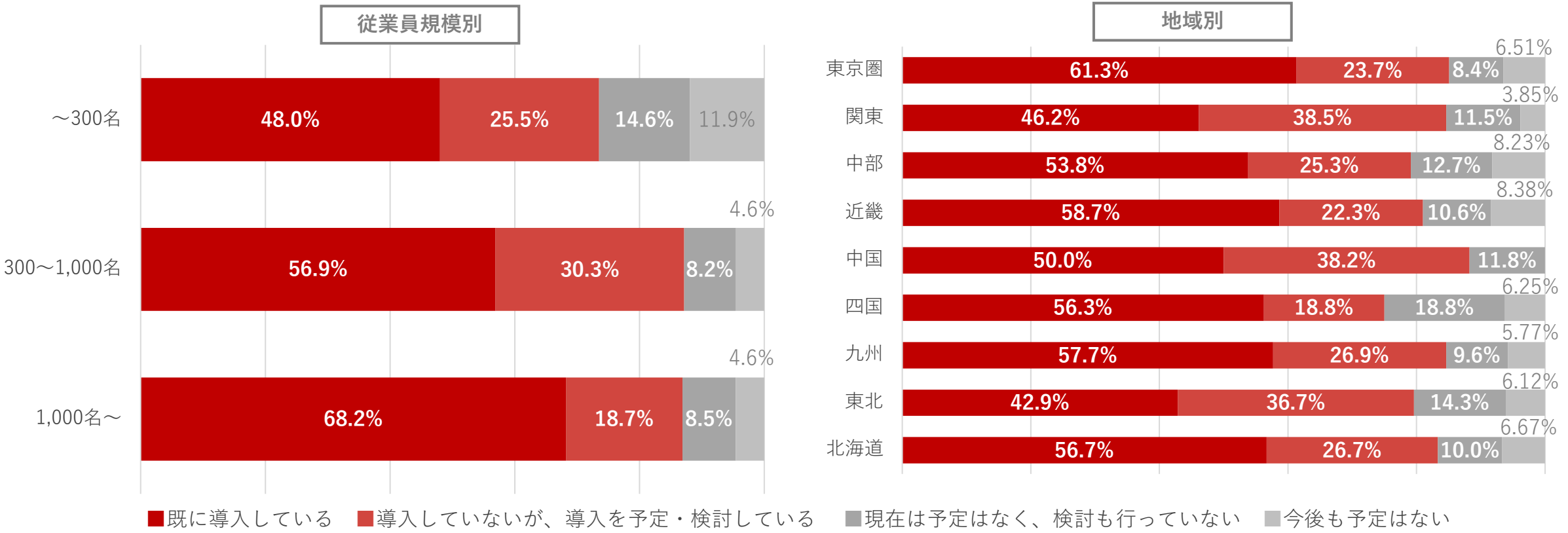
既に導入している組織は57.6%、導入を予定・検討している組織は25.4%に達している。これにより、全体の80%以上の組織がIT資産管理ツールの導入・検討をしていることがわかる。主な導入理由としては、PC管理業務の効率化やシステム管理者の負担軽減、セキュリティ強化が挙げられる。

© MOTEX Inc.

IT資産管理ツールの導入・検討状況（従業員規模別・地域別）

Q.1 社内のPCに関する情報をIT資産管理ツールなどのソフトウェアやクラウドサービスで管理していますか？

（有効回答数：1,020）



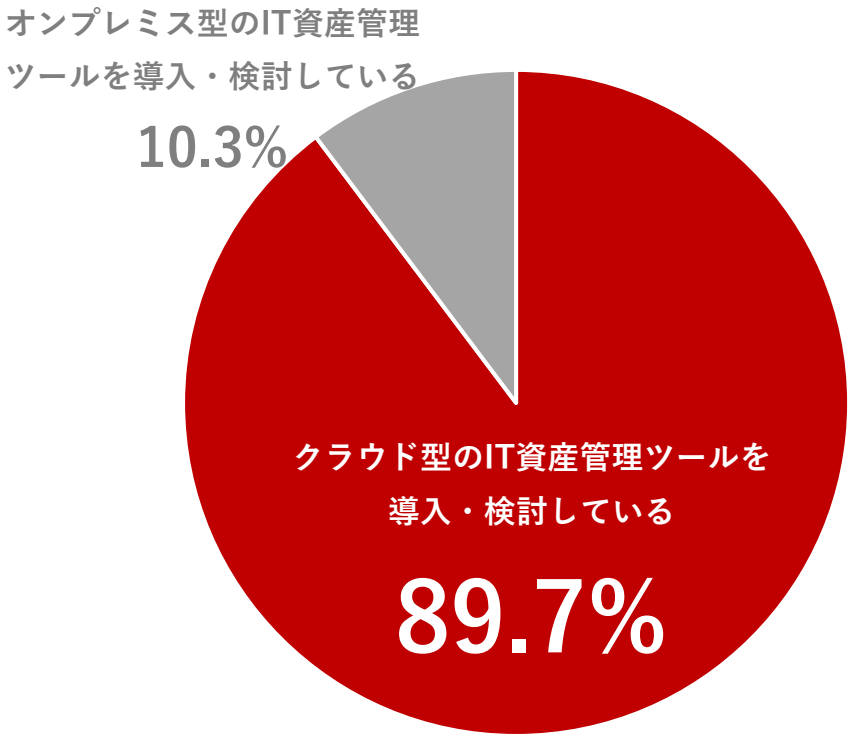
IT資産管理ツールの導入率は、従業員規模が大きいほど高く、特に1,000名以上の企業・組織では86%に達している。規模別にみると、どの地域も75%以上の組織がIT資産管理ツールの導入・検討が行っており地域に関わらず導入・検討率が上がっていることがわかる。

© MOTEX Inc.

IT資産管理ツール オンプレミス型・クラウド型の導入・検討傾向

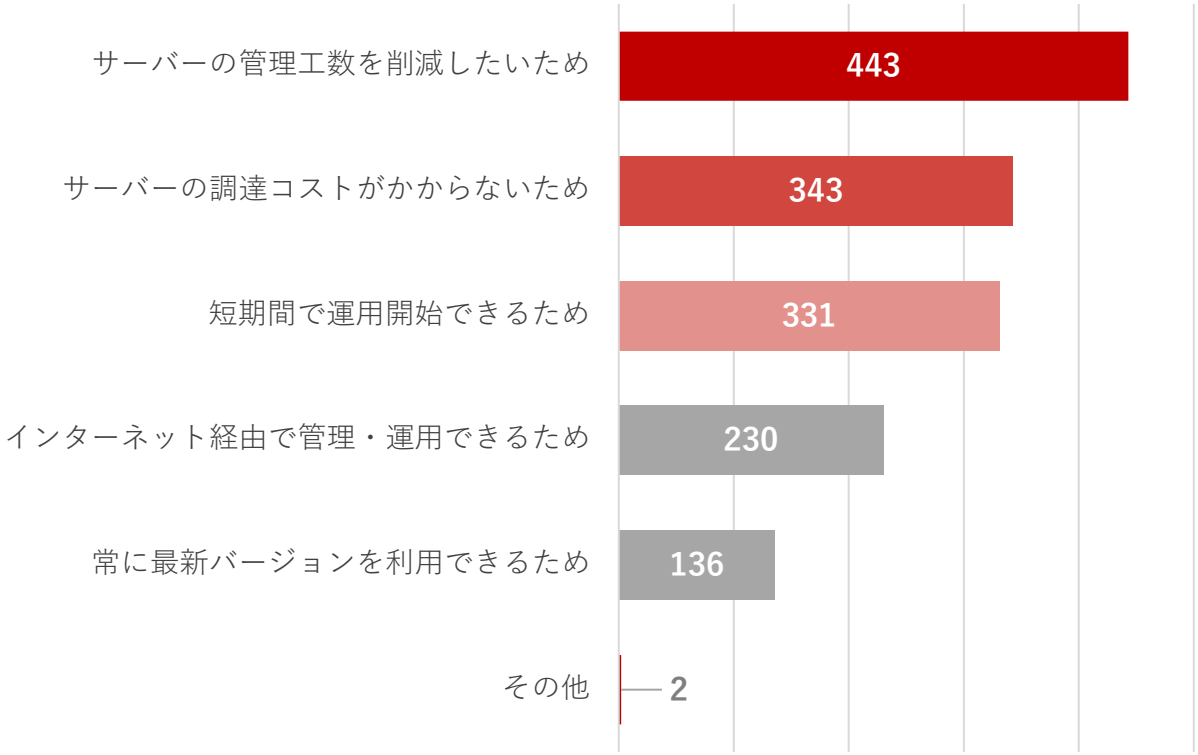
Q.3

導入（予定・検討も含む）しているのは、どちらの IT 資産管理ツールですか？
（有効回答数：847）



Q.4

クラウド型の IT 資産管理ツールを導入（予定・検討）している理由として、当てはまるものを教えてください
※複数回答可（有効回答数：760）



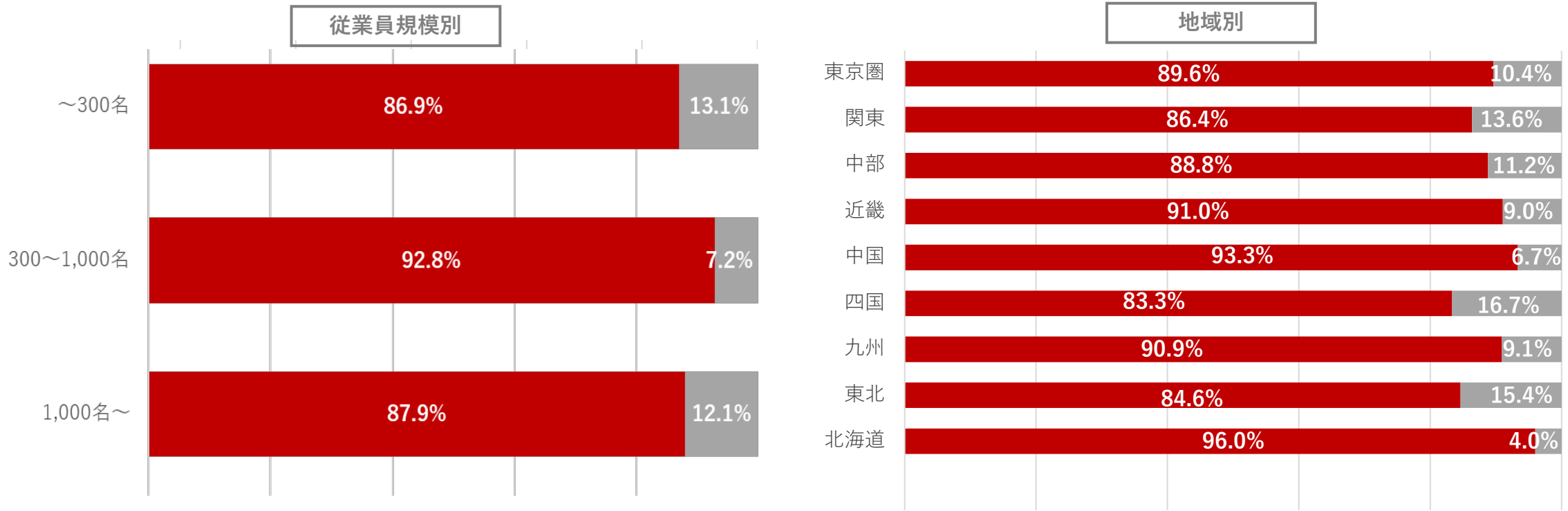
全体の90%近くがクラウド型の導入・検討をしており、クラウド型の導入・検討が進んでいる。IT資産管理ツールにおいて、クラウドシフトの傾向が強まっていることがわかる。クラウド型のIT資産管理ツールの主な導入理由として、サーバー管理工数やコストの削減、短期間での運用開始が挙げられる。従来のオンプレミス型の課題を解決し、コスト削減や効率的な運用を求めていることがわかる。

© MOTEX Inc.

IT資産管理ツール オンプレミス型・クラウド型の導入・検討傾向（従業員規模別・地域別）

Q.3 導入（予定・検討も含む）しているのは、どちらのIT資産管理ツールですか？

（有効回答数：〇）

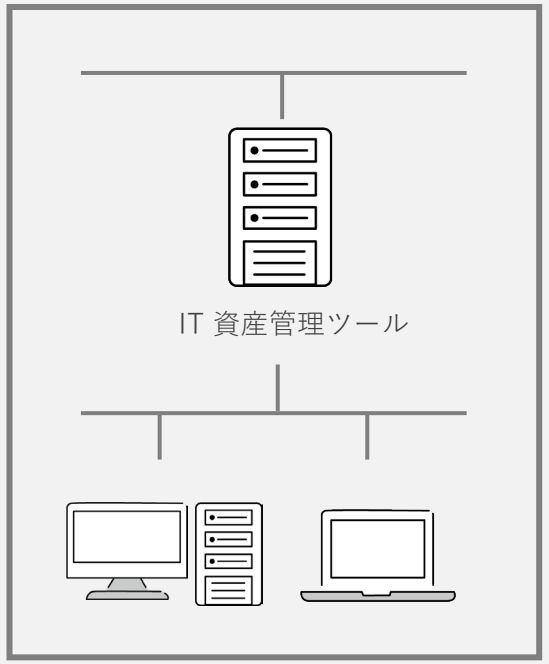


従業員別でみると、 クラウド型を利用している企業は1,000名以上が一番多かった。その一方で、クラウド型の導入検討は1,000名以上が一番少ない結果となった。従業員規模が大きいほど管理対象のPCが増えるため、コストやセキュリティ面の課題、オンプレミス型からクラウド型への移行にかかる工数などの課題が影響していると考えられる。
地域別にみると、導入・検討は九州、中国、北海道などが多く、東京圏以外の地方でもクラウド型の導入・検討が進んでいることがわかる。

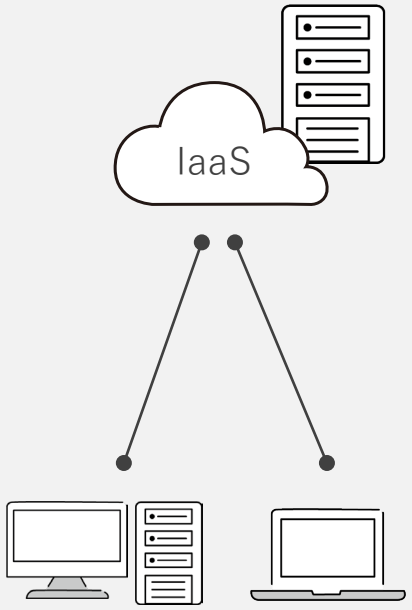
© MOTEX Inc.

IT資産管理ツールの運用方法の種類

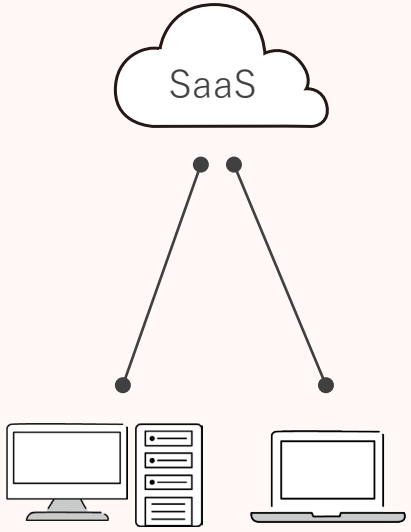
IT資産管理ツールを
物理サーバーに構築・利用



IT資産管理ツールを
IaaS環境に構築・利用



IT資産管理ツール ベンダーが
提供する**SaaSを利用**



オンプレミス型のIT資産管理ツール

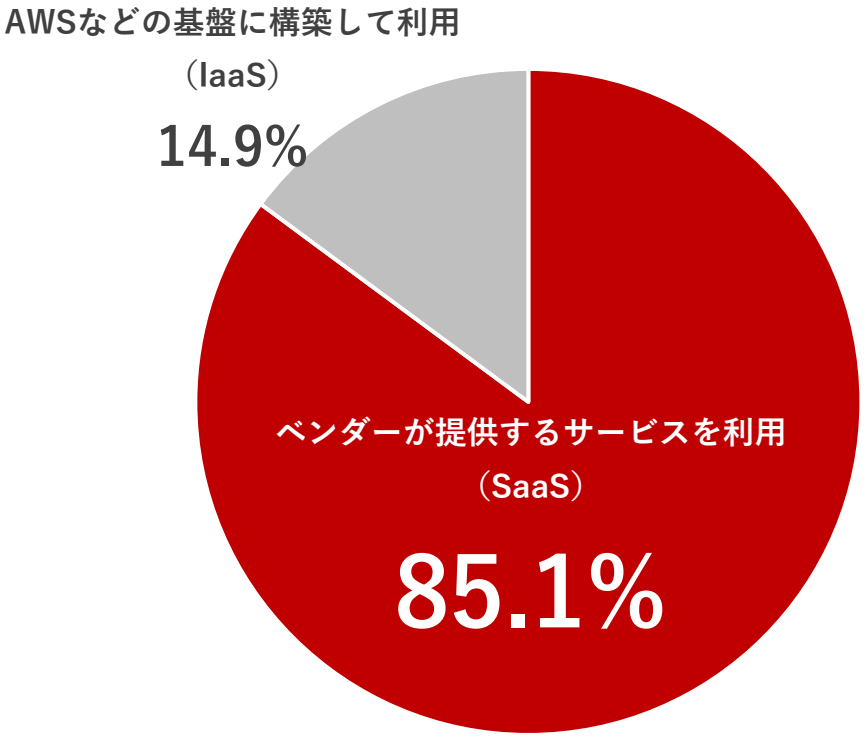
クラウド型のIT資産管理ツール

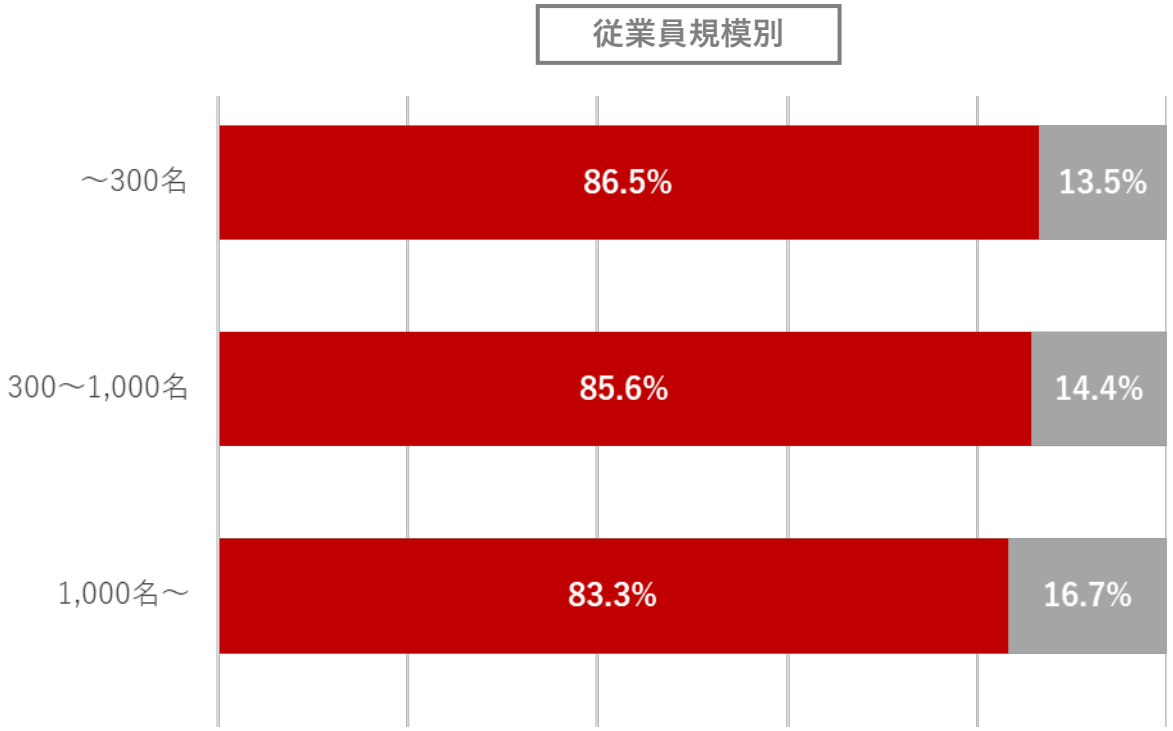
© MOTEX Inc.

クラウド型のIT資産管理ツールの利用形式について

Q.5 導入（検討も含む）しているクラウド型のIT 資産管理ツールはどのような形式ですか？

（有効回答数：760）





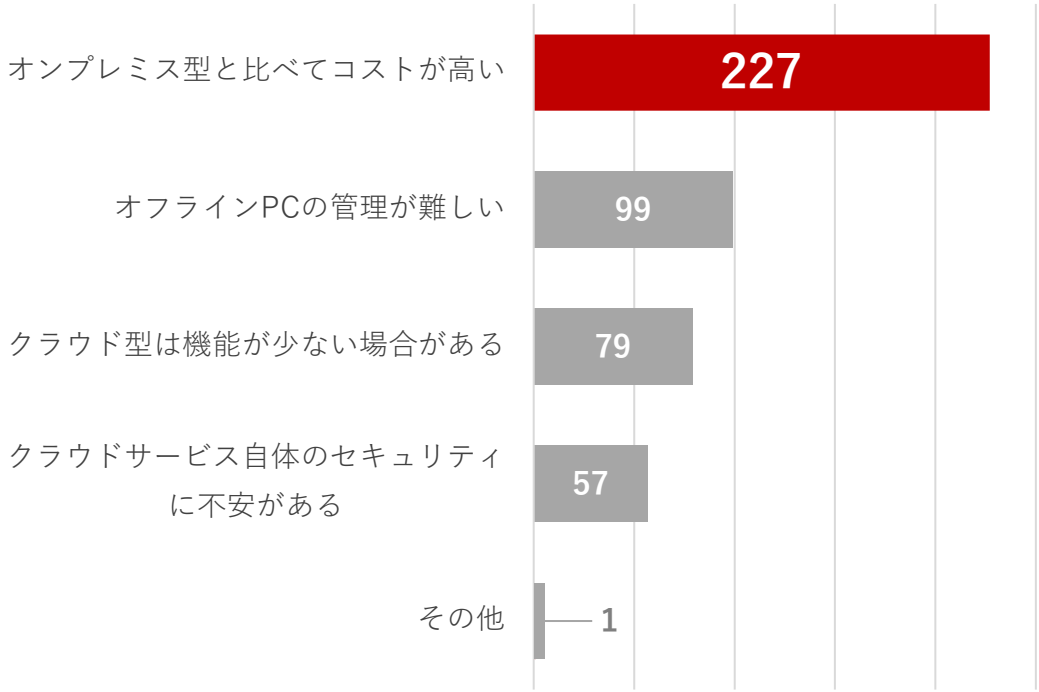
IaaSにIT資産管理ツールを構築する場合は、環境構築やバージョンアップなどのメンテナンスはユーザーが行う必要があるが、SaaS型ではプロバイダーが管理を行うため、常に最新バージョンを利用できる。全体の85.1%がベンダー提供のSaaSを利用・検討していることから、管理コストの削減や効率的な運用を期待している企業が従業員規模に関わらず多いことがわかる。

© MOTEX Inc.

IT資産管理ツールのクラウド化における課題と選定ポイント

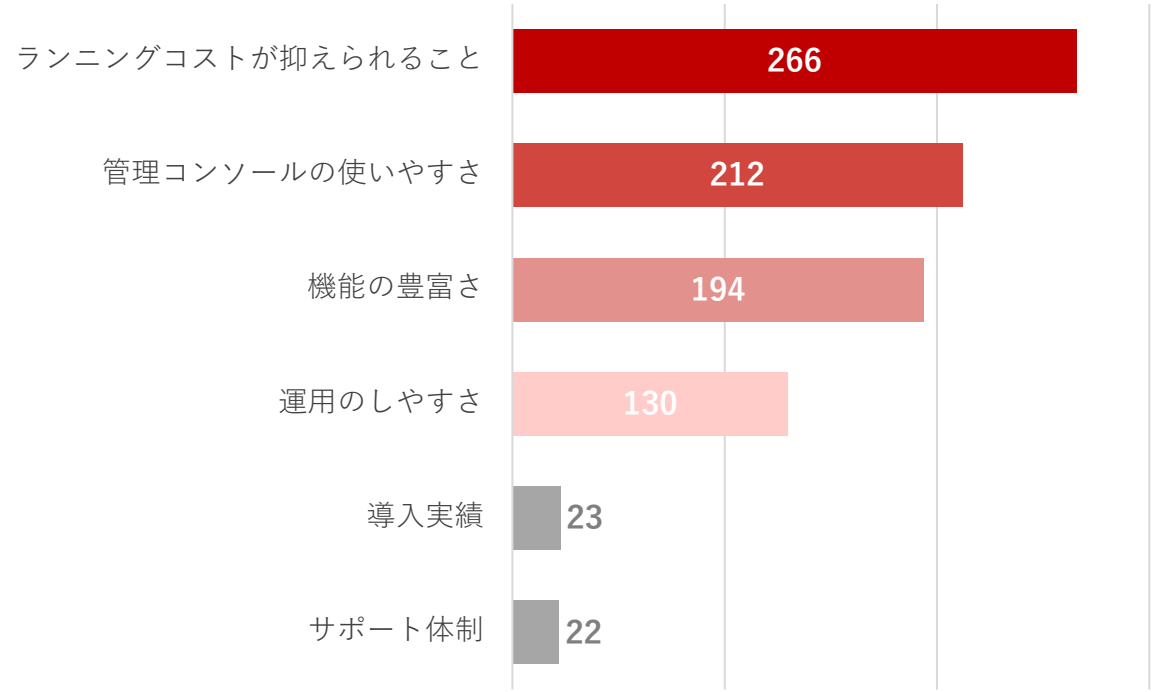
Q.6

IT資産管理ツールのクラウド化において
どのような点が課題ですか？
（有効回答数：463）



Q.7

IT資産管理ツールの選定時に
最も必要だと思う要件について教えてください
（有効回答数：847）



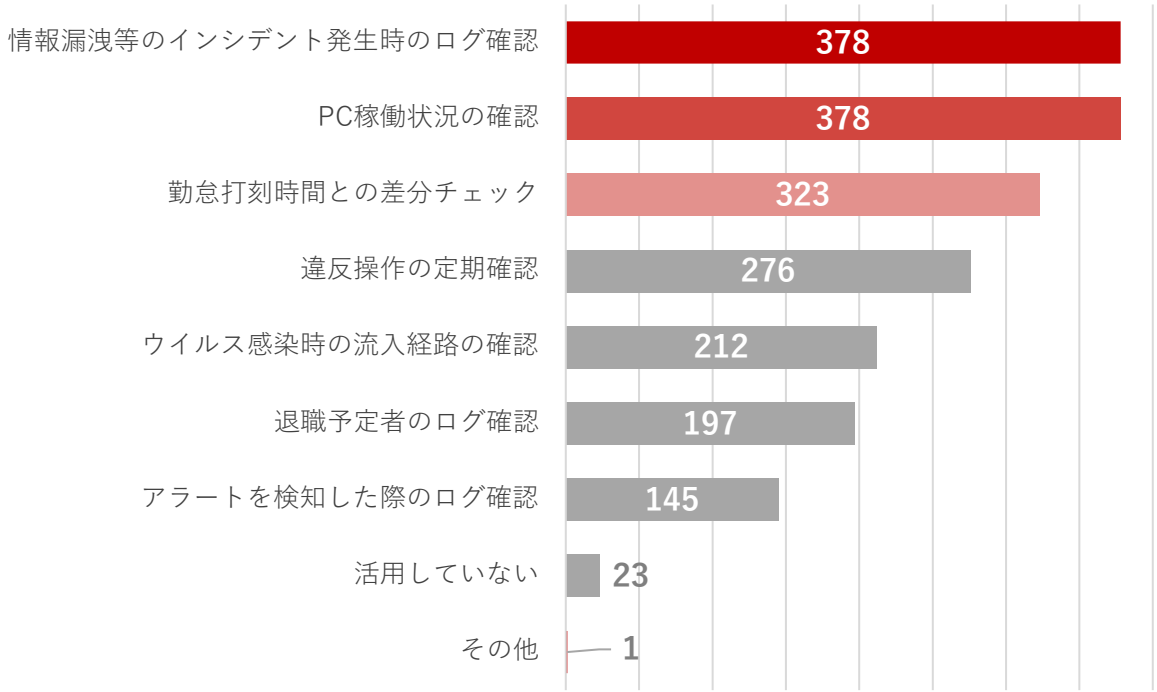
クラウド化の課題として最も多いのがコストの面の課題となっており、オフラインPCの管理や機能不足などもクラウド化のハードルとなっていることがわかる。また、IT資産管理ツールの選定時の要件としてもランニングコストが最も多く、次いで、管理コンソールの使いやすさ、機能の豊富さ、運用のしやすさが重要な要件として挙げられており、特に「コスト」「機能の豊富さ」はIT資産管理ツール選定においては重要なポイントとなっていることがわかる。

© MOTEX Inc.

IT資産管理ツールの操作ログの活用と保存期間

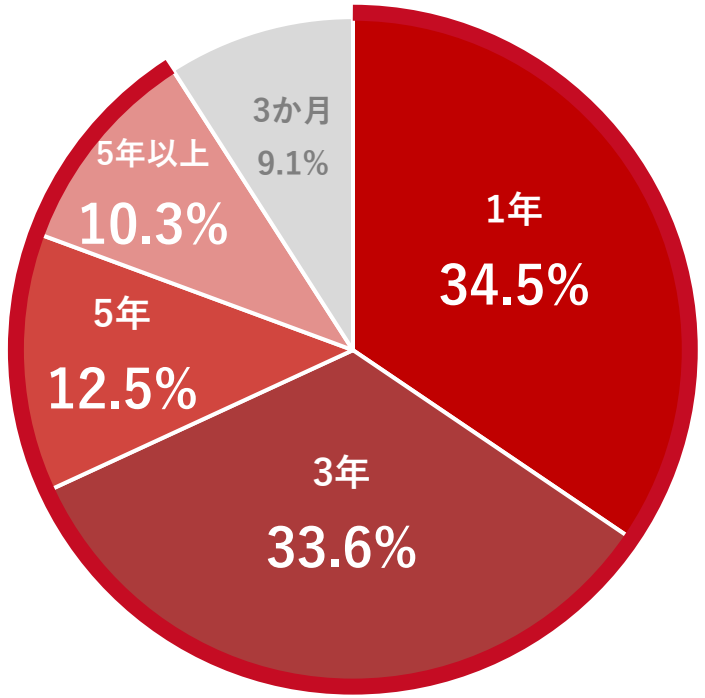
Q.8 IT資産管理ツールで取得した操作ログの活用方法について教えてください

（有効回答数：847）



Q.9 IT資産管理ツールで取得したPCの操作ログはどのくらいの保存期間が必要ですか?

（有効回答数：847）

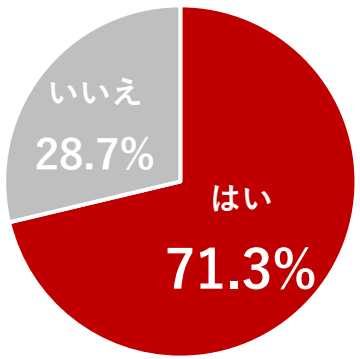


情報漏洩対策やPCの稼働確認、勤怠打刻時間との差分チェックなどが主な活用方法として挙げられている。ログの保存期間は全体の90%以上の組織が1年以上を必要としている。さらに、3年以上の保存期間を必要とする企業・組織も半数以上に達しており、長期間のログ保存が求められていることがわかる。クラウド型のIT資産管理ツールではログ保存期間に制限がある場合も多いため、導入検討時には、コストに加えて、ログ保存期間も重要なポイントとなっていることがわかる。

© MOTEX Inc.

これまでPC管理はオンプレ型のIT資産管理ツール、スマホ管理はMDMとツールが別れていた状況
スマホ管理もPC管理者が行うことが増えていることから、PC・スマホ一元管理のニーズが上昇

Q.10 社内で使用するスマートフォンも
あなたの管理対象になっていますか？
（有効回答数：1,020）



70%以上のPC管理者が社内で使用するスマートフォンも管理対象にしていることがわかった。IT資産管理ツールは、PC・スマホ分かれていることが一般的だが、今後はPCとスマホを一元管理できるツールかどうかが、選定ポイントのひとつになる可能性がある。

IT資産管理ツール
-オンプレミス型-

- デバイスやソフトウェアの情報収集、管理
- セキュリティパッチやソフトウェアの配布
- 操作ログ取得や利用機能の制御

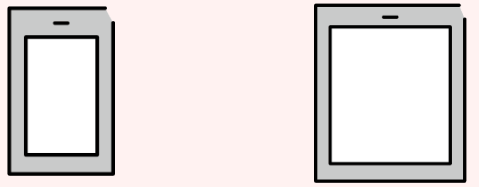
Windows　macOS

＋

MDM（モバイルデバイス管理）
- クラウド型 -

- デバイス紛失時のリモートロック・ワイプ
- セキュリティポリシーやアプリの配布、管理
- 位置情報取得や利用機能の制御

Android　iOS



**PCの持ち出しが当たり前になり、
多くのMDMがPC管理にも対応**

© MOTEX Inc.

2.

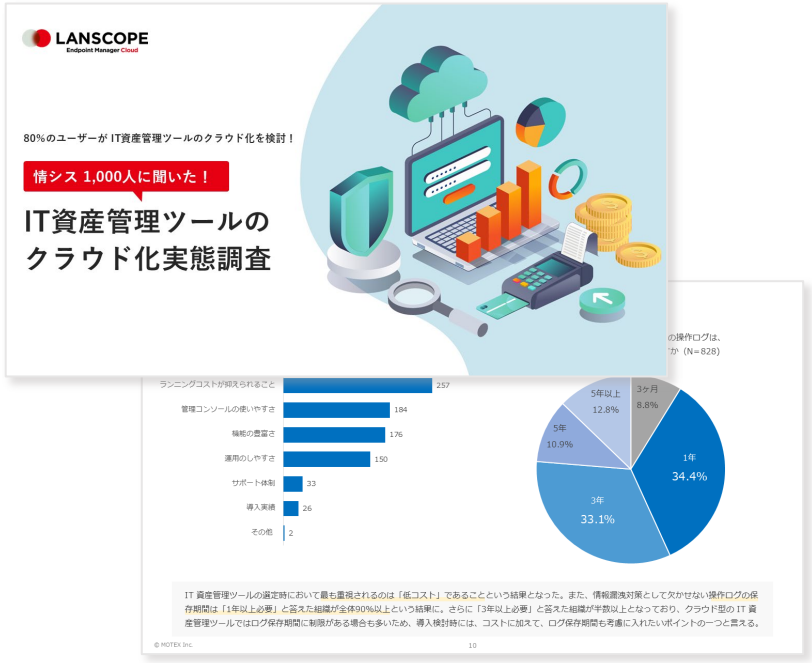
前回2023年 調査との比較

© MOTEX Inc.

参考：前回の調査結果

調査概要　「IT資産管理（PC管理）ツールのクラウド移行実態」に関する調査

- 調査期間：2023年6月
- 調査方法：インターネット調査
- 調査人数：1,014名（従業員数300名未満：302名、300名～1,000名未満：401名、1,000名以上：311名）
- 調査対象：企業・組織に所属している 情報システム担当者 、かつPC管理の担当者
- モニター提供元：ゼネラルリサーチ 株式会社



▼前回の資料ダウンロードはこちら

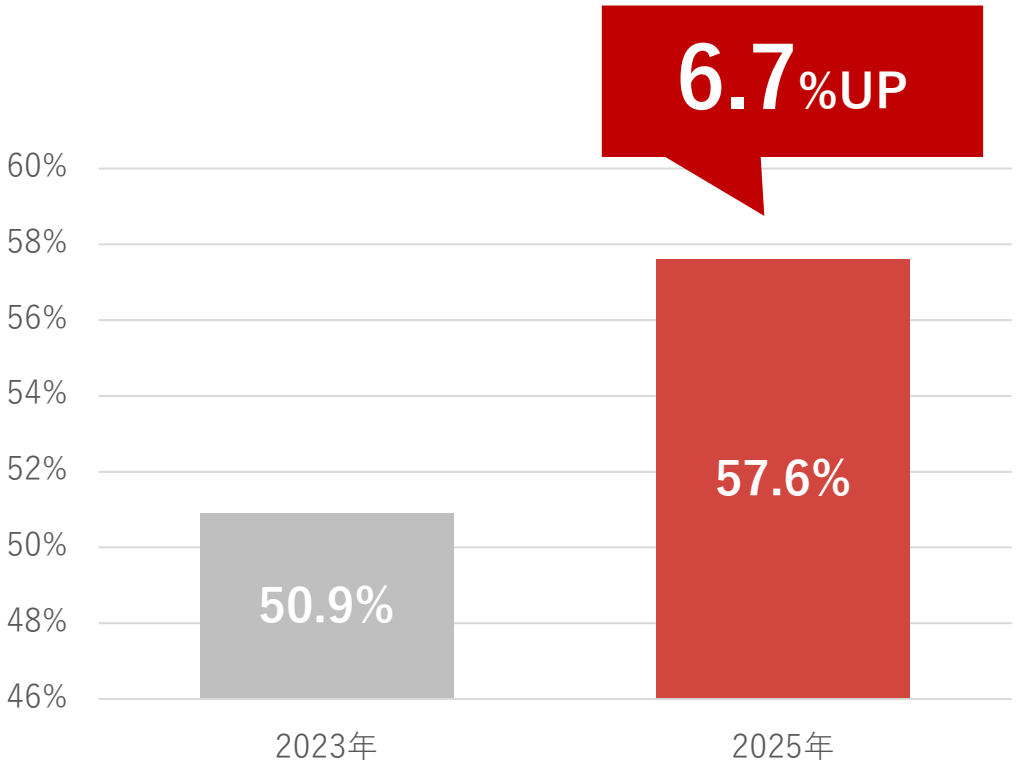
資料をダウンロードする

https://www.lanscope.jp/dl/pdf/IT_asset_management_tool_cloud_survey.pdf

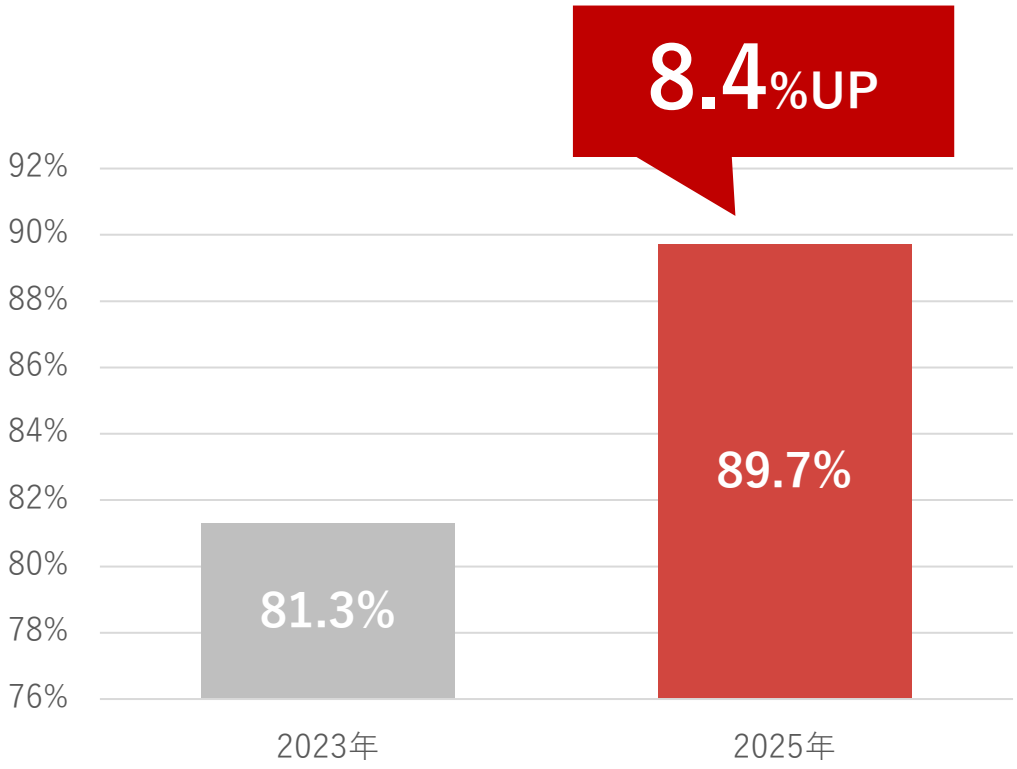
© MOTEX Inc.

IT資産管理ツールの導入・検討状況とクラウド型の導入・検討状況（前期調査との比較）

PCをIT資産管理ツールで管理している



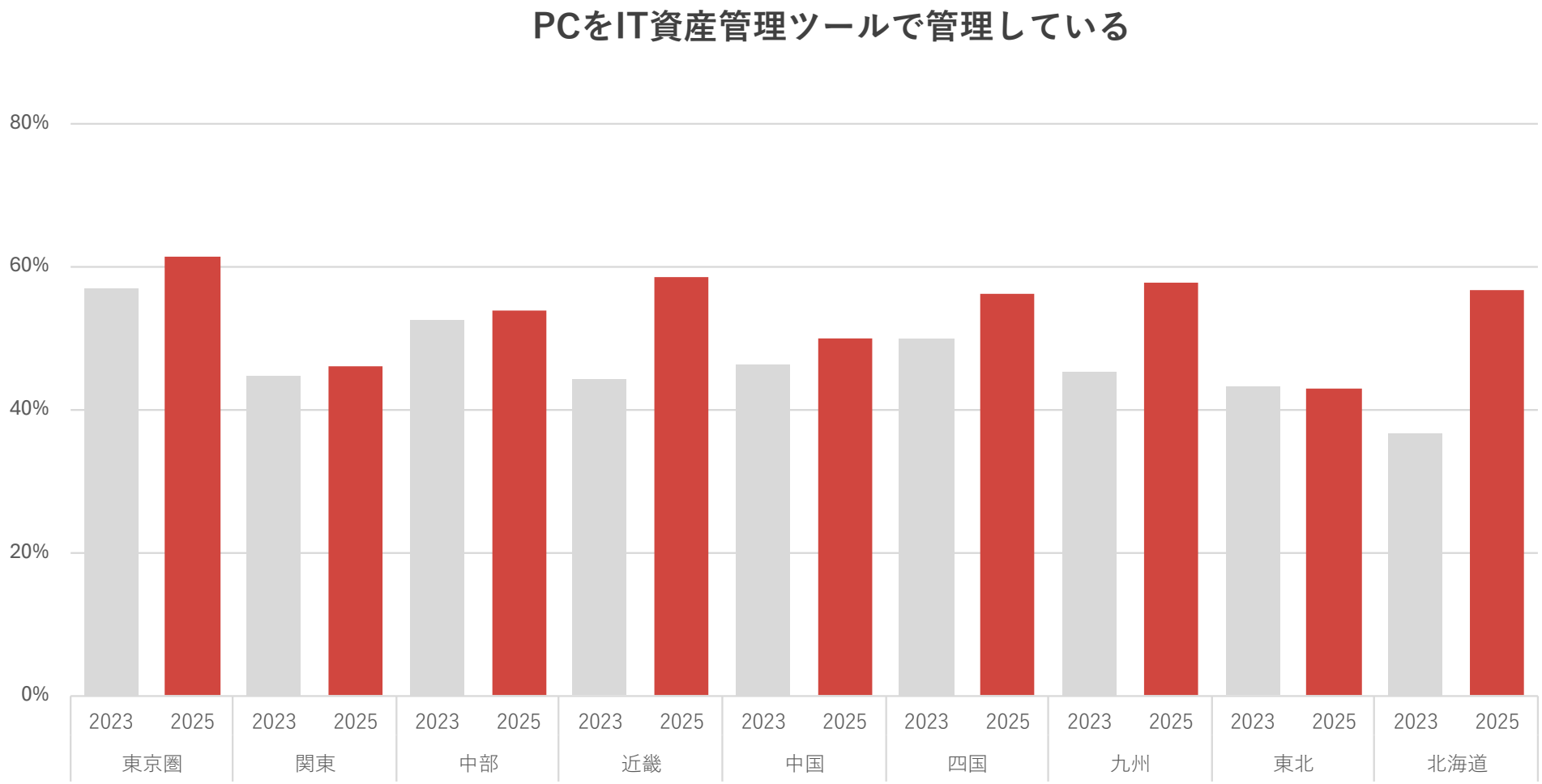
クラウド型のIT資産管理ツールを導入（予定・検討も含む）している



PCをIT資産管理ツールで管理している組織は前回から6.7%増加しており、クラウド型のIT資産管理ツールを導入・検討している組織は8.4%増加している。
この結果からも組織におけるIT資産管理ツールの導入は一般化しており、その中でもクラウド型で検討・導入する組織が増加していることがわかる。

© MOTEX Inc.

【地域別】IT資産管理ツールの導入状況（前期調査との比較）

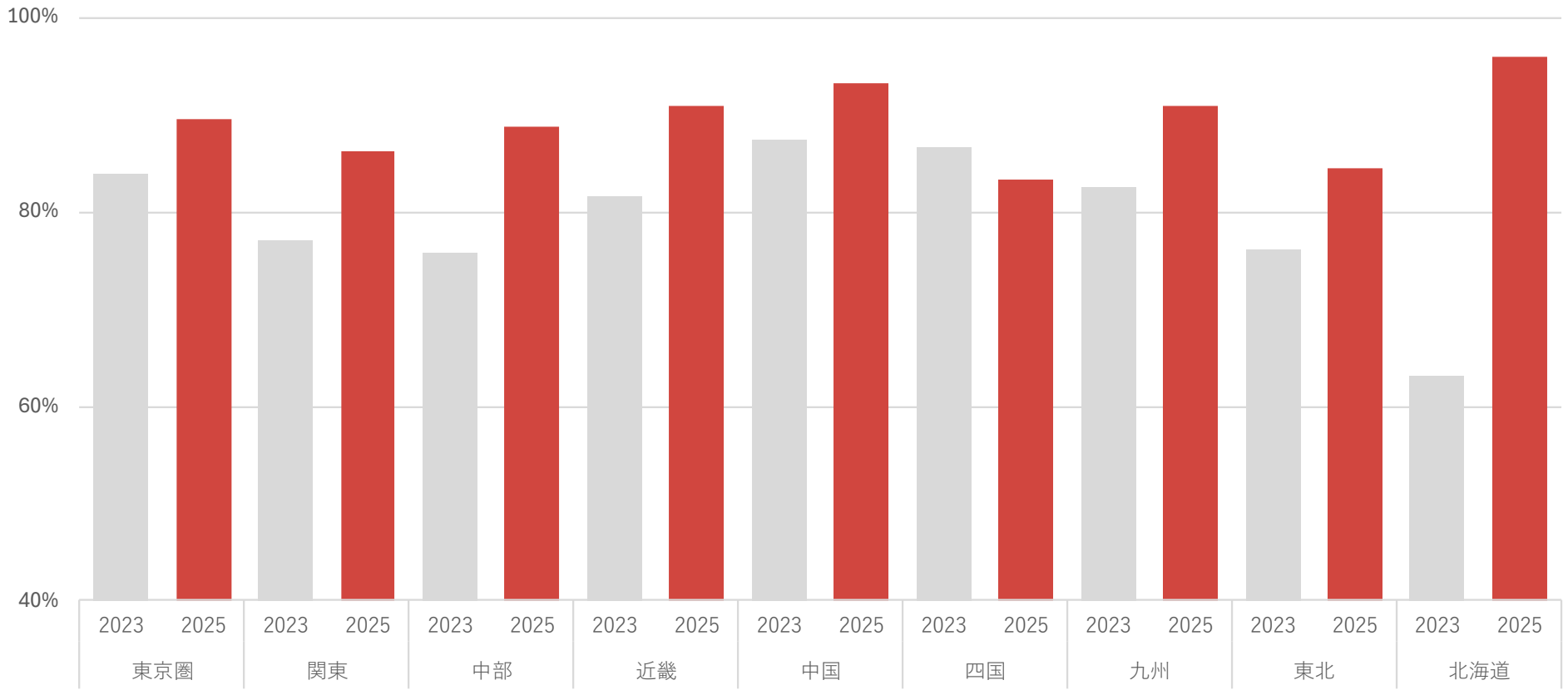


IT資産管理ツールの導入状況を地域別に見ると、東京圏以外の地方でも導入率が増加している。地域に関わらずIT資産管理ツールの必要性を感じる企業が増えている。

© MOTEX Inc.

【地域別】クラウド型のIT資産管理ツールの導入・検討状況（前期調査との比較）

クラウド型のIT資産管理ツールを導入（予定・検討も含む）している



クラウド型のIT資産管理ツールの導入・検討状況を地域別に見ると、ほぼすべての地域で増加している。特に九州、中国、北海道などの地方での導入・検討が進んでおり、東京圏以外の地域でもクラウド型の導入が進んでいることがわかる。これにより、クラウド型のIT資産管理ツールの導入・検討が地域に関わらず全体で広がっていることがわかる。

© MOTEX Inc.

LANSCOPE
Endpoint Manager Cloud

3.

まとめ

© MOTEX Inc.

01 IT資産管理ツールはクラウド型を導入・検討する組織が増加傾向

IT資産管理ツールの利用は従来はオンプレミス型が主流だったが、調査結果をみると多くの組織がクラウド型を導入・検討している。前回の結果からも見られた傾向だが、さらに増加傾向となっている。

02 IT資産管理ツールの選定ポイントは「低コスト」「機能の豊富さ」「使いやすさ」

クラウド型のIT資産管理ツールを検討する組織が増加する一方で、オンプレミス型と比べるとランニングコストが高い、機能不足などが、クラウド化における課題となっており、IT資産管理ツール選定時の重要なポイントとなっている。

03 90%以上の組織がIT資産管理ツールでPC・スマホを一元管理

PC管理の担当者の70%以上が、スマホも管理対象となっており、PC・スマホを一つのツールで管理したい（既に管理している）という組織が増加傾向。そのため、PC・スマホをどちらも導入・管理している場合、導入を検討するIT資産管理ツールが、スマホの管理にも対応しているか？という点も選定時の重要なポイントとなっている。

© MOTEX Inc.

情報システム担当者がIT資産管理ツール検討時に次のようなポイントを見ている

クラウド型であるか

テレワークなどで社内ネットワークに繋がらないデバイスを管理するため、クラウド型であるかどうか

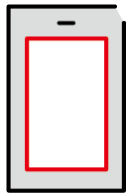
コスト

初期費用、ライセンス費用だけでなく、サーバーの管理工数削減ができるか

機能の豊富さ

オンプレミス型のIT資産管理ツールの方が機能が豊富な場合が多いが、クラウド型でも同等の機能が網羅されているか

スマホ管理もできるか



PC・スマホ両方を情報システム部門で管理している組織も多く、PC・スマホを一つのツールで管理できるかどうか

これらのポイントを押さえた プロダクトを網羅したプロダクトをお探しの方は、
LANSCOPEエンドポイントマネージャーをご検討ください

© MOTEX Inc.

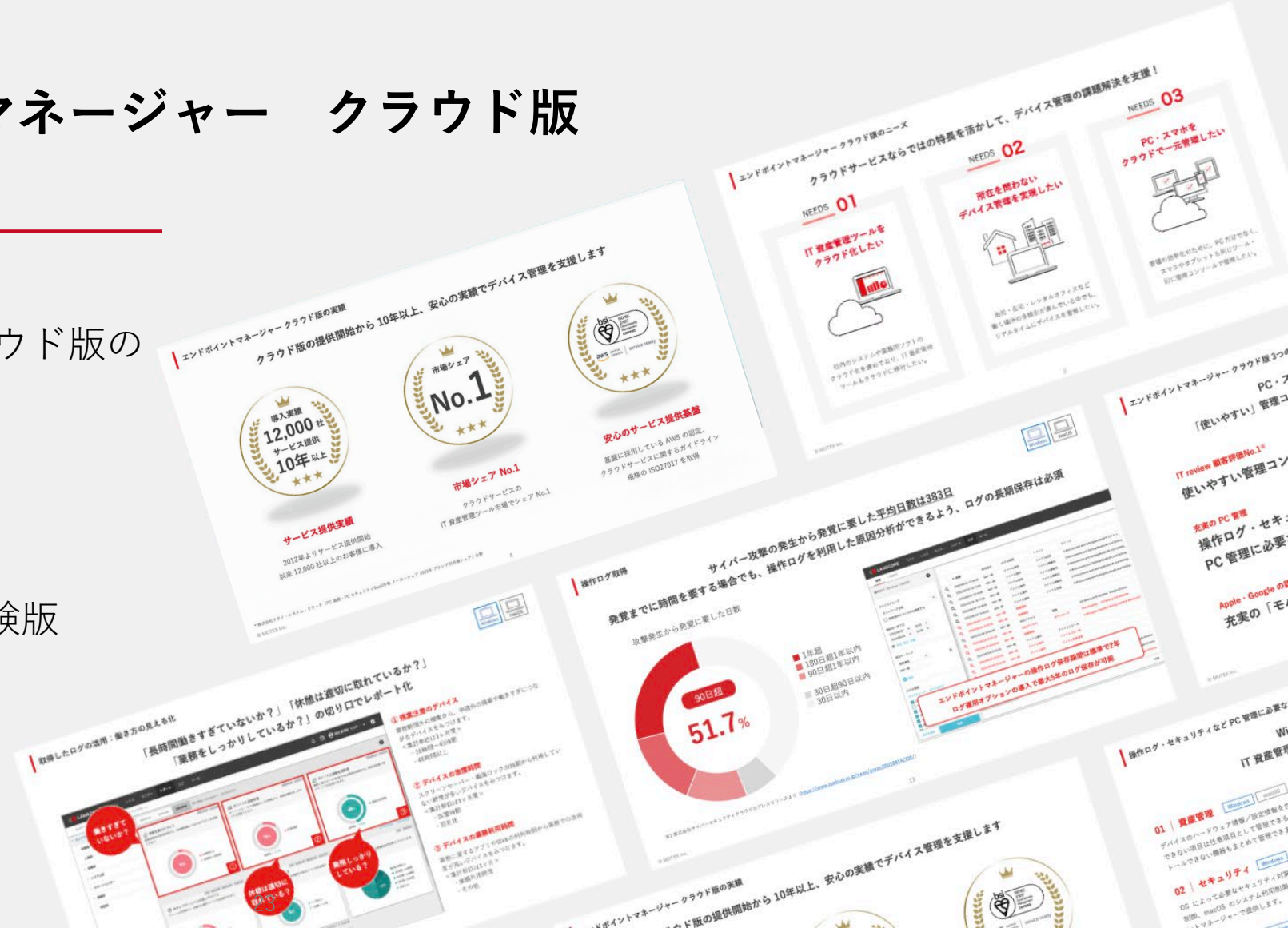
LANSCOPE エンドポイントマネージャーについて知りたい方はこちら

3分でわかる

LANSCOPE エンドポイントマネージャー　クラウド版

この資料でわかること

- エンドポイントマネージャー クラウド版のニーズ・特徴
- PC管理機能の紹介
- モバイル管理機能の紹介
- ライセンス体系・価格表・無料体験版



資料をダウンロードする

© MOTEX Inc.

LANSCOPE
Endpoint Manager Cloud

4. LANSCOPE のご紹介

© MOTEX Inc.

「LANSCOPE」を通して、お客様の “Security Productivity” の実現を支援

エンドポイントセキュリティ | クラウドセキュリティ | ネットワークセキュリティ

統合エンドポイント管理

Endpoint Manager

組織の IT 資産管理・内部不正対策・外部脅威対策をオールインワンで対応

- IT 資産管理・MDM
- 内部情報漏洩対策
- 外部脅威対策

AI アンチウイルス

Cyber Protection

AI を活用したアンチウイルスで未知・亜種の脅威を検知・対処・復旧が可能

- EPP
- EDR
- MDR

リモートコントロール

Remote Desktop

遠隔地のサーバーやPC、スマホへのリモート操作、画面共有などヘルプデスク業務を効率化

- リモートアクセス
- ヘルプデスク効率化

Microsoft 365 セキュリティ

Security Auditor

Microsoft 365の監査ログを取得。利用状況の見える化やアラート管理が可能

- 監査ログ管理
- アラート管理

セキュリティ診断

Professional Service

高い技術力を誇るセキュリティエンジニアがWeb・ネットワーク・クラウドの脆弱性を診断

- Web 診断
- ネットワーク診断
- クラウド診断

AI 型ネットワーク脅威検知

DARKTRACE

AI を活用しネットワークを監視、サイバー攻撃や内部不正の兆候を検知・遮断

- NDR
- ネットワーク遮断
- Email 監視

サプライチェーンリスクマネジメント

Panorays

ドメイン情報やオンライン調査票からサプライチェーンリスクを可視化

- セキュリティスコアリング
- ASM

© MOTEX Inc.

本資料内容についてのご質問や、セキュリティに関するご相談があれば、お気軽にお問い合わせください。

無料Webセミナー

ウイルス対策や情報漏洩対策など
幅広いコンテンツを配信中。
いつでも視聴できるオンデマンド配信も
ございます。

セミナーを確認する

お役立ち資料

今すぐ実践できるセキュリティ対策・
事例、調査データ、プロダクト
紹介資料などご活用ください。

資料をダウンロードする

オウンドメディア Wiz LANSCOPE

安全と生産性の両立を実現するために、
ITに関わる情報を分かりやすく伝える
情報サイトです。

ブログを読む

© MOTEX Inc.

MOTEX

本資料に関するお問い合わせ

■ マーケティング本部
プロダクトマーケティング部
E-mail　product@motex.co.jp

ご導入後のプロダクト利用に関するお問い合わせ

サポートセンター	0120-968-995 （携帯・PHSからは06-6308-8981）
お電話受付時間	9:30～12:00/13:00～17:30（平日、祝祭日除く）
E-mailお問い合わせ	support@motex.co.jp

・記載の会社名およびプロダクト名・サービス名は、各社の商標または登録商標です。
・プロダクトの仕様・サービスの内容は予告なく変更させていただく場合があります。
・MOTEX はエムオーテックス株式会社の略称です。

© MOTEX Inc.